

Report

能登半島派遣報告

会場

輪島商工会議所

応援経営支援員

中小企業相談所長

鬼頭 貴士



3月17日～19日の3日間、輪島商工復興センター内の輪島商工会議所にて被災された事業者の相談に行ってきました。

輪島市の町並みは、損壊した家屋の公費解体が進んでおり、さらに建設中の住居が見受けられる等ゆっくりではあるものの着実に復興に向けて進んでいました。

事業者の相談は、これまで昨年5月と9月そして今回と合計3回行いましたが、前回との相違点として、今回は伝産産業の輪島塗と観光産業の朝市関連の相談者が半数程でしたが、今回は弁当屋、時計店、美容院、保険代理店、金物屋、塗装店など生活に根付いた商売の方が多かったように思われます。また今回は、相談中に不安から涙を流される方や、呆然としながら話されるなど感情的な方もみえましたが、今回は皆さん「補助金のお話を聞きに来た」と目的をはっきり言われ落ち着いていらっしやいました。これは、時間の経過に加えて、どんな支援を受けられるのか情報がきちんと伝わっているからだと思われます。

相談者の中には、「震災の後から、商品を高いところに置いておくと揺れで損壊するから地下に移動させたら、豪雨水害で全て土砂に埋まった」と言われるなど、地震と水害の二重の被害に苦しんでいる方もいらっしやいました。復興には、まだまだ時間がかかりそうのため、今後も商工会議所として支援が必要だと感じました。

